astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 9 - 0 7)

2 級

文字・語彙

(100点　35分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で8ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか、最も適切な読み方を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　この船は、長年貨物(1)の運送(2)に使われてきたが、今年その役目(3)を終えることになった。

(1) 貨物	1	にもつ	2	こくもつ	3	さくもつ	4	かもつ
(2) 運送	1	うんそう	2	ゆそう	3	てんそう	4	りんそう
(3) 役目	1	やきめ	2	やくもく	3	やくめ	4	やきもく

問 2　地震(1)に備え(2)、食料を貯蔵(3)しておかなければならない。

(1) 地震	1	じじん	2	ちしん	3	じしん	4	ちじん
(2) 備え	1	そなえ	2	むかえ	3	くわえ	4	あたえ
(3) 貯蔵	1	ちょうそう	2	ちょぞう	3	ちょうぞう	4	ちょそう

問 3　印刷(1)会社に正社員として雇われる(2)ことになった。

(1) 印刷	1	いんしつ	2	いんそつ	3	いんさつ	4	いんせつ
(2) 雇われる	1	やとわれる	2	すくわれる	3	いわわれる	4	ねがわれる

問 4　幼い(1)娘と一緒に、植木(2)に水をやるのを日課(3)にしている。

(1) 幼い	1	おさない	2	かしこい	3	こまかい	4	かわいい
(2) 植木	1	しょくぼく	2	うえぎ	3	しょくもく	4	うえき
(3) 日課	1	にっき	2	にっか	3	にちか	4	にちき

問 5　最近出版(1)されたこの著者(2)の本はすべて読みました。

(1) 出版	1	しゅつはん	2	しゅつへん	3	しゅっぺん	4	しゅっぱん
(2) 著者	1	ひっしゃ	2	ちょしゃ	3	ちょっしゃ	4	ひしゃ

問6　住民たちは協力(1)して、井戸を掘る(2)ことにした。

(1) 協力　　1　きょりょく　2　どりょく　3　どうりょく　4　きょうりょく

(2) 掘る　　1　ほる　2　える　3　さぐる　4　けずる

問7　順調(1)に回復(2)しているので、もうすぐ退院(3)できるでしょう。

(1) 順調　　1　しゅんちょ　2　しゅんちょう　3　じゅんちょう　4　じゅんちょ

(2) 回復　　1　かいふう　2　かいほく　3　かいふく　4　かいほう

(3) 退院　　1　たんいん　2　だいいん　3　だんいん　4　たいいん

問8　子どものころは、空を見上げて、宇宙(1)のことをいろいろ想像(2)したものです。

(1) 宇宙　　1　うっちょう　2　うちゅう　3　うちょう　4　うっちゅう

(2) 想像　　1　そうぞう　2　しょうぞう　3　そうじょう　4　しょうじょう

問題 II　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　道で(1)さいふを(2)ひろった。

(1) さいふ　1 財袋　2 材布　3 財布　4 材袋

(2) ひろった　1 拾った　2 捨った　3 払った　4 授った

問 2　このプリントに(1)あやまりがないか、(2)じむしょに行って(3)ちょくせつ聞いてみた。

(1) あやまり　1 限り　2 誤り　3 残り　4 余り

(2) じむしょ　1 治務所　2 事勤所　3 治勤所　4 事務所

(3) ちょくせつ　1 直説　2 直接　3 触説　4 触接

問 3　(1)しょくよくがないようですね。どうしたんですか。

(1) しょくよく　1 食好　2 食探　3 食求　4 食欲

問 4　(1)しんやに、階段から落ちて(2)こっせつしてしまった。

(1) しんや　1 真夜　2 進夜　3 深夜　4 寝夜

(2) こっせつ　1 肯切　2 骨切　3 肯接　4 骨折

問 5　今日は(1)すずしいが日ざしが強かったので、(2)ぼうしをかぶって行った。

(1) すずしい　1 凍しい　2 涼しい　3 寒しい　4 冷しい

(2) ぼうし　1 帽支　2 冒子　3 帽子　4 冒支

問 6　この(1)そうちは、(2)じょうきの(3)いきおいが強くなると止まります。

(1) そうち　1 装置　2 総池　3 装池　4 総置

(2) じょうき　1 乗気　2 暑気　3 蒸気　4 昇気

(3) いきおい　1 慕い　2 労い　3 勇い　4 勢い

問7　あの(1)いずみの水には、体によい(2)せいぶんが多く(3)ふくまれている。

(1) いずみ	1	湖	2	泉	3	沓	4	潮
(2) せいぶん	1	成分	2	清分	3	正分	4	性分
(3) ふくまれて	1	含まれて	2	組まれて	3	込まれて	4	包まれて

問8　(1)ほうりつで(2)きんしされていることは、国によって(3)ことなります。

(1) ほうりつ	1	法立	2	放立	3	放律	4	法律
(2) きんし	1	停止	2	禁止	3	制止	4	防止
(3) ことなり	1	反なり	2	違なり	3	異なり	4	差なり

問9　今、彼は(1)ぼうえき関係の仕事をしている。

(1) ぼうえき	1	貿易	2	賃易	3	貿営	4	賃営

問題 Ⅲ　次の文の＿＿＿の部分に入れる最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　練習でうまくできても、試合で実力を ＿＿＿ するのは難しいものだ。

1　発行　　2　発射　　3　発表　　4　発揮

(2)　和室にふとんを ＿＿＿ 寝る。

1　かぶせて　　2　ひっぱって　　3　しいて　　4　のばして

(3)　父は子供のころ ＿＿＿ 、食べるものに困っているそうだ。

1　けわしくて　　2　あやしくて　　3　まずしくて　　4　こいしくて

(4)　このガラスびんの ＿＿＿ は2リットルです。

1　濃度　　2　容積　　3　水圧　　4　重量

(5)　海 ＿＿＿ の道を通って家に帰った。

1　沿い　　2　建て　　3　向け　　4　付き

(6)　A：「部長、遅くなってすみません。先日の会議のレポートができました。」

B：「それは ＿＿＿ 」

1　ごくろうさま　　2　えんりょなく

3　おまちどおさま　　4　おきのどくに

(7)　緊張していたので、 ＿＿＿ に話せなかった。

1　エチケット　　2　スタイル　　3　アクセント　　4　スムーズ

(8)　夏になると、この山には ＿＿＿ と登山客がやってくる。

1　別々　　2　続々　　3　点々　　4　着々

(9)　あさまで寝ないで勉強していたので、授業中に眠くて何度も ＿＿＿ が出た。

1　あくび　　2　せき　　3　しゃっくり　　4　くしゃみ

(10)　長期にわたって ＿＿＿ してきた二国間で、先週、初のトップ会談が行われた。

1　対照　　2　対策　　3　対面　　4　対立

問題 Ⅳ　次の(1)から(5)は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最も合う言葉を1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　学習して完全にできるようになる。

1　コーチする　　2　セットする

3　マスターする　　4　プラスする

(2)　気づかれないように何かをするようす。

1　ぎっしり　　2　こっそり　　3　そっくり　　4　ぐっすり

(3)　肉などが焼けすぎて黒くなる。

1　こげる　　2　さびる　　3　とける　　4　くさる

(4)　数えきれないほど多い。

1　整数　　2　複数　　3　無数　　4　偶数

(5)　その状態を変えないで続ける。

1　普及する　　2　特定する　　3　保証する　　4　維持する

問題 V　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　正直

1　かくさないで、正直な気持ちを話してほしい。

2　あの角を曲がって、10分ほど正直に行ってください。

3　この問題は難しいから、正直な答えがわかりません。

4　市場ではなく、農家から正直に野菜を買いたい。

(2)　たしか

1　次の電車に間に合うかどうか、たしかをしてください。

2　引き受けた仕事は、たしかがんばりたい。

3　田中さんと初めて会ったのはたしか3年前のことだった。

4　人から聞いた話なので、たしかはわからない。

(3)　展開

1　親友に悩みを展開して、気持ちが楽になった。

2　あの店のパンは、展開して2時間後に売切れてしまう。

3　美術館へ古い絵画の展開を見に行った。

4　このドラマは話の展開が単純なのでおもしろくない。

(4)　散らかる

1　部屋が散らかっていたので、子どもに片付けさせた。

2　この花は咲いてから四、五日で散らかる。

3　うっかりコップを倒してしまい、水が散らかった。

4　もう夜も遅いから、散らかって明日また集まろう。

(5)　分解

1　ケーキを買ってきたから、みんなで分解して食べましょう。

2　ラジオを分解して、音が出なくなった原因を調べてみた。

3　図書館の本は分野ごとに分解してならべてあります。

4　この虫は東部から南部にかけて広く分解している。

問題 VI　次の(1)から(5)の下線をつけた言葉の意味に最も似ているものを1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　父は、とても頭にきているようだ。

1　驚いている　　2　悔やんでいる
3　怒っている　　4　悲しんでいる

(2)　その話は単なるうわさですから、信じてはいけません。

1　むだな　　2　ただの
3　うその　　4　ばかな

(3)　この内容でよろしければ、サインをいただけますか。

1　許可　　2　署名
3　承認　　4　注文

(4)　先週の出張を中止したのはやむをえないことだった。

1　しかたがない　　2　みっともない
3　もったいない　　4　とんでもない

(5)　オリンピックが契機となり、スポーツがさかんになった。

1　ささえ　　2　すくい
3　つながり　　4　きっかけ

astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 9 - 0 7)

2 級

読解・文法

(200点　70分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で19ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問に答えなさい。答えは1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

人間には、二通りしかない。まねをする人と、まねをしない人。まねをする人は、まねを上手にする人であるとは限らない。できる、できないではない。

する人

しない人

の、二つなのである。まねを「する人」というのは、こういう人だ。たとえば、「犬がさ、腹を見せてさあ」と話すときに、腹を見せて、よろこぶ犬の様子を、自分で楽しみながら実演(注1)する人のことである。鳥でも、虫でもいい。また、人のまねでもいい。一つの様子を、顔や手、ときには体全体をつかって、再現する人である。

「しない人」は、こんなものまねは絶対しない。「する人」ができるちょっとしたことができない。この違いはなんだろう。「しない人」は、おそらく、こういう人だと思う。

人前でそんなことをしたら笑われてしまうから、しない。(　①　)、プライド(注2)があって、自分がそのときだけでも、自分以外のものになり変わること、化けることが、とても恥ずかしいので、しない。小さいときから、そういう「ふざけた」行為(注3)をすることを警戒(注4)していたので、しない。あるいは、子どものときは「する人」だったが、社会的な地位があがるうちに、「身体表現」とは無縁(注5)になり、そのうちに、あんなこと②は、はしたない(注6)と思うようになったので、しない。

でも「しない人」のほとんどは、小さいときから「しない人」であると思う。「しない人」は、その意味では早くから「おとな」③なのだ。でも、一人のときに「おとな」であるのは、いいことだが、みんなでいるときに、あまりに「おとな」である人は、「おとな」とはいえないと思う。もちろん、「する人」ばかりいても困るけれど、「する人」は「しない人」より心が自由であることはたしかだ。いつまでも自分をにぎりしめていない人だから。

まわりを見渡すと、「しない人」が最近は多いように思う。自己愛(注7)が進んでいる証拠(注8)であろう。「ひとつ」しか自分の姿をもっていない④ためだろう。話していることのなかみや考えはとてもやわらかいのに「しない人」がいる。ほんとうは心がそれほどやわらかくないのだと思う。これからも「しない人」はずっとしないだろう。

人が体をつかって、たとえちょっとしたことでも何かを表現するとき、その場の空気は明るくなる。光がひろがる。それによって世界が、具体的に見え出す。

自分の体は、自分だけのものではない⑤。もっとひろい場所に置かれたものである。使いようによっては、みんなのものにもなるものなのである。それ⑥は自分にとっても、まわりの人にとっても、いいことであり、楽しいことなのである。でも「しない人」はしない。

（荒川洋治『忘れられる過去』による）

（注1） 実演する：実際にやってみせる

（注2） プライドがある：自分にほこりを感じている

（注3） 行為：行動、行い

（注4） 警戒する：ここでは、しないように気をつける

（注5） …と無縁になる：…をしなくなる

（注6） はしたない：みっともない

（注7） 自己愛：ここでは、自分を大切にしようと思う気持ち

（注8） 証拠：本当であることを示すもの

問1 本文中のまねを「する人」とはどんな人か。

1 どんなことでも上手にまねができる人

2 犬や鳥や虫やほかの人のまねができる人

3 よろこぶ犬の様子を見てそれを楽しむ人

4 自分が見た様子を体を使って再現する人

問2 (①)に入る最も適当な言葉はどれか。

1 ただし　　2 あるいは　　3 ところが　　4 したがって

問3 ②「あんなこと」とはどんなことか。

1 社会的な地位が上がり、身体表現に消極的になること

2 自分以外のものになり変わり、そのまねをすること

3 プライドがあり、ふざけた行為をすることを警戒すること

4 おとなになってからも、ものまねをしないようにすること

問4　③「早くから「おとな」」である人とはどんな人か。

1　子どもなのに自分をにぎりしめていない人

2　子どもなのに体がおとなと同じくらい大きい人

3　子どものときから高い社会的地位についている人

4　子どものときから自分以外のものになろうとしない人

問5　④「「ひとつ」しか自分の姿をもっていない」とあるが、その「自分の姿」とはどのようなものか。

1　他人より自分の体のことを考える自分

2　話のなかみも考えもやわらかい自分

3　常に理想的にふるまおうとする自分

4　自由に楽しみながら身体表現をする自分

問6　⑤「自分の体は、自分だけのものではない」とはどういうことか。

1　自分の体は、親からもらったものなので大事にしなくてはいけない。

2　自分だけでなく、他の人々も自分のことを理解し大切にしてくれる。

3　まねをすることは周りの人を楽しませ、より具体的に物事を伝える。

4　私たちは、他の人の役に立つように生きることを考えるべきである。

問7　⑥「それ」とは何か。

1　身体表現はみんなのものでもあること

2　身体表現が上手にできること

3　身体表現をしなくてもかまわないこと

4　身体表現をしなくても理解してもらえること

問8　本文の内容に合っているものはどれか。

1　楽しみながらまねをすることはいいことだ。

2　はずかしいのを我慢してでもまねをすべきだ。

3　多くの人がまねができるようになってきている。

4　みんながまねをするようになり社会が明るくなった。

問題 II　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)「まさか、そんな、冗談でしょ」①と笑われそうだが、実は私はとても消極的でのろま(注1)な子供だった。何をするにも人より時間がかかる。学芸会(注2)では一番後列の端で小さくなっていた。それが今や大勢の人前に立ち、一分一秒を争うテレビの世界で仕事をしているのだから、つくづく(注3)不思議に思う。

私が変わっていく②きっかけを作ってくれたのは、小学校五年生のときの担任の西村先生だった。

当時、食べるのも遅かった私は、給食(注4)の時間内に食事を終えることができず、いつも途中で片付けられてしまっていた。それをみて先生は、「まだ残っているんだったら、食べていいよ」と声をかけてくださったのだ。おかげで、私は5時限目(注5)が始まっても、給食を食べていていいことになった。時には、それでも終わらなくて、6時限目も食べ続けていた。

人と同じでなくてもいい。大切なのは、最後まで力を尽く(注6)すこと、とそのとき③学んだ。百人の生徒がいれば、百の個性があり、百のペース(注7)がある。各人を比較しても仕方がない。音痴(注8)でもいい、投げ出さずに心をこめて歌う。算数ができなくても、自分の持てる力のなかで一生懸命やってみる。その教えはクラス全員に伝わった。

私も少しずつ、のろまなりに自分のペースを作り、消極的ながらも一歩ずつ前に出ていくことをスタートさせたのだと思う。

子供の可能性というのは、限りないものだ。得意な分野だけではなく、ひょっと(注9)すると苦手と思われる領域の内にも、大事に育ててあげれば大きく花開く芽のようなものが潜んでいる(注10)かもしれないことを、忘れてはいけない。

（楠田枝里子「あすへの話題」日本経済新聞2007年10月6日付夕刊による）

(注1)　のろま：動作や頭の働きが遅い様子、または、そのような人

(注2)　学芸会：劇や音楽などを発表する学校の行事

(注3)　つくづく：心から

(注4)　給食：学校で出される昼ごはん。みんな一緒に教室で決まった時間内に食べる。

(注5)　5時限目：5時間目。給食の時間のすぐ後の授業。

(注6)　力を尽くす：力いっぱいがんばる

(注7)　ペース：物事を進める速度

(注8)　音痴：歌が下手なこと、下手な人

（注9） ひょっとすると：もしかしたら

（注10）潜む：見えないが、確かに存在する

問1 ①「まさか、そんな、冗談でしょ」という人は、筆者を、どんな人だと考えているのか。

1 何でも積極的で、速いペースで物事をすませる人

2 何でも消極的だが、速いペースで物事をすませる人

3 何でも消極的で、遅いペースでしか物事ができない人

4 何でも積極的だが、遅いペースでしか物事ができない人

問2 ②「変わっていく」とあるが、筆者はどのように変わっていったのか。

1 苦手なことでも最後まで努力してうまくできるようになった。

2 食べるのが速くなり忙しいテレビの世界に入れるようになった。

3 給食で出る食事を時間内に食べることができるようになった。

4 どんなことでもあきらめずに最後までがんばれるようになった。

問3 ③「そのとき」とあるが、いつか。

1 西村先生が心配して声をかけてくださったとき

2 西村先生の許可で給食を自分の速さで食べ終えたとき

3 給食をほかの生徒とは別に一人で5時限目に食べたとき

4 食べるのが遅すぎて給食を途中で片付けられてしまったとき

問4 本文の内容に合っているものはどれか。

1 子どもは大きくなるとともに変わらなければならない。

2 子どもは食事をしたいときには食べるようにしたほうがいい。

3 子どもは一人一人違っていてその違いを大切にしたほうがいい。

4 子どもは消極的なら消極的なままでいても全く問題にならない。

（2）「人の話を聞いてるのか‼」

あなたは上司(注1)などからこんなことを言われた経験はないだろうか？

じつは先日、ある喫茶店で上司らしき人が部下らしき人に対して、このように怒鳴っている光景(注2)を目撃した。

その部下は終始うつむき加減(注3)で、一見(注4)すると神妙(注5)に上司の話を聞いているかのように思えた。しかし、上司は怒った。

なぜなのか？

それは、上司が一生懸命いろいろなアドバイスをしているのに、部下が全くメモを取っていなかったからではないか。

通常(注6)、メモというのは自分のために取るものである。大事なことをメモしておくことによって、記憶力を補完(注7)できるからだ。

しかし、メモの効用(注8)というのは、じつはこれだけではない。

私の経験からすると、聞き上手といわれる人は、必ずといっていいほど、人の話を聞くときはメモを取っている。

ときには、「すいません。もう一度お願いします」とか、「それはどういう漢字を書くんですか？」などと質問してまでメモを取るのである。

もちろん、これには先ほどの記憶力の補完という意味もあるが、じつは「あなたの話を真剣に聞いていますよ」というパフォーマンス(注9)の意味合いもあるのだ。

（堀内伸浩「ブレーク」読売新聞2007年10月29日付朝刊別刷による）

（注1） 上司：職場で立場が上で、指示を与える人

（注2） 目撃：事件や出来事などを直接見ること

（注3） うつむき加減で：少し下のほうを向いて

（注4） 一見すると：ちょっと見ると

（注5） 神妙：素直で心がけがいいようす

（注6） 通常：普通

（注7） 補完：補って完全なものにすること

（注8） 効用：役に立つはたらき

（注9） パフォーマンス：ここでは、人の注意や関心を自分に向けるための行動

問 1　「このように怒鳴っている光景」とはどんな光景か。

1　自分の話を真剣に聞いていないと思い、怒って大声を出している光景

2　自分の話に対して何も言わないことに怒って、大声を出している光景

3　許可なしに自分の話を聞いていると思い、怒って大声を出している光景

4　他の人の話を聞いて自分の話を聞かないことに怒って、大声を出している光景

問 2　筆者の観察では、聞き上手とはどのような人か。

1　相手の話を聞きながらメモを確かめる人

2　相手の話をいつもメモを見ながら聞く人

3　相手の話に対する質問をよくメモする人

4　相手の話をいつもメモをしながら聞く人

問 3　筆者の考えでは、メモにはどんな効果があるか。

1　相手を怒らせないようにするとともに、アドバイスを受け入れやすくする。

2　相手を尊敬する気持ちを示すとともに、相手の信頼を得やすくする。

3　後で思い出しやすくするとともに、相手に話を聞いていることを示す。

4　後で質問しやすくするとともに、相手に話の内容を考えさせる。

問 4　筆者によれば、この「上司」はなぜ怒ったと考えられるか。

1　「部下」が「上司」の話をただ聞いているだけだったから

2　「部下」が「上司」の話を自分のためだけに聞いていたから

3　「部下」が「上司」の話をメモを取りながら聞いていたから

4　「部下」が「上司」の話を理解することができなかったから

（3）（次の文章は遊漁船という船での仕事について説明した文章である。）

その名称(注1)からもわかるように、遊漁船は利用者が「遊ぶ」目的で「漁」をするための船です。「仕事」として「漁」をする漁船とは区別されています。

そして、釣りをするのが船の乗員である漁船と違い、遊漁船では、乗員は一切(注2)釣りをしません。釣り客に「釣り」を安全に楽しんでもらえるように釣り場に案内するのが、遊漁船業者の仕事なのです。一口で言えば、「釣り」をテーマにした海上のサービス業といえます。

そんな遊漁船業において、基本となる二つの重要なことがあります。

まず、大前提(注3)であるお客の安全を守るということです。日常生活を送っている陸地とは違い、不慣れな自然の海の上ではちょっとした軽はずみ(注4)な行動によって危険(注5)にさらされることもあるからです。

次に、楽しんでもらうという点であげられるのが、お客に楽しく魚を釣ってもらうということです。せっかく釣りにきているのですから、釣り客は少しでも多く魚を釣りたいと考えます。中には、釣った魚を夕食のおかずにしようと、真剣につりをする客もいます。

このような釣り人を満足させ、楽しいひととき(注6)を演出(注7)し、なおかつ(注8)安全を守っているのが遊漁船の責任者である船長や遊漁船業務主任者（中略）です。

（ヴィットインターナショナル企画室編『知りたい「なりたい」職業ガイド　つりにかかわる仕事』による）

（注1） 名称：名前

（注2） 一切：ここでは、全く

（注3） 大前提：一番基本の条件

（注4） 軽はずみな：深く考えず慎重さが足らない

（注5） 危険にさらされる：危険な状態におかれる

（注6） ひととき：しばらくの時間

（注7） 演出：ここでは、いろいろ工夫して作り出すこと

（注8） なおかつ：その上さらに

問1　遊漁船と漁船の説明として正しいものはどれか。

1　遊漁船も漁船も海上のサービス業のための船である。

2　遊漁船も漁船も海上のサービス業のための船ではない。

3　遊漁船は海上のサービス業のための船であるが、漁船はそうではない。

4　漁船は海上のサービス業のための船であるが、遊漁船はそうではない。

問 2　遊漁船業で最も大切なことは何か。

1　客が海の上で行動するのに慣れるようにすること

2　客が海の上で自然に釣りができるようにすること

3　客が海の上で不慣れな行動をしないようにすること

4　客が海の上で安全に釣りを楽しめるようにすること

問 3　筆者は、遊漁船の釣り客にはどのような客がいると言っているか。

1　安全を守ろうと思ってまじめに釣りをする客

2　おかずにしようと思ってまじめに釣りをする客

3　みんなを満足させたいと思って楽しく釣ろうとする客

4　他の人に負けたくないと思ってたくさん釣ろうとする客

問 4　「楽しいひととき」とあるが、どんなときか。

1　安全に船に乗ることができるとき

2　たくさん魚を釣ることができること

3　釣り客の安全を守ることができること

4　夕食のおかずに魚を食べることができるとき

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)「人生は楽しければそれでいい」という人がいる。「生き甲斐(注1)がない人生に意味はない」という人もいるだろう。「どんなに苦しくても生き抜くことが大切」「義(注2)のためには命もすてる」など、人の意見は様々だ。各人各様に人生をとらえているとき、人はすでにその人の哲学を生きている。

世の中にはあまりにも多様(注3)な哲学があり、他人と議論してみるとそのことは如実(注4)にわかる。そのような時、「それにしても本当のところはどうなっているのか」と考え始めたとする。

ほんとうの哲学が始まるのはそのときだ。

（貫成人「哲学マップ」による）

(注1)　生き甲斐: 生きる意味

(注2)　義: 正しいとされること

(注3)　多様な: いろいろな

(注4)　如実に: はっきり

【問い】　筆者の言う「ほんとうの哲学」とは、どのようなものか。

1　各人各様の哲学からさらに深く考えを進めたもの

2　他人の考えを知ることでだんだん見えてくるもの

3　各人各様の哲学についていろいろと議論したもの

4　他人の様々な意見をよく聞いてわかってくるもの



（2）ナマケモノは一日中、木にぶら下がって、ゆっくりと動きながらくらしている。睡眠時間は一日約20時間で、トイレはわずか8日に一回。その名のとおり、とてものんびりとした動物だ。おまけに、ぶら下がったままあまり動かないために、体毛には植物の一種であるソウ類がはえてしまっている。しかし、実はこのソウ類の緑色は、森の中では保護色(注)になっている。また、あまり動かないことで、余分なエネルギーを使う必要もない。ナマケモノは、ただのなまけ者ではなく、とても合理的な生き方の動物なのだ。

（面白自然学会編『知ってなるほど！ 面白トリビア　生物編』による）

（注）　保護色：動物が敵に見つからないようにするための特別な体の色

【問い】　ナマケモノの「合理的な生き方」の説明として、適切なものはどれか。

1　ナマケモノは体毛に生える緑色のソウ類を食べることで、自分が使うエネルギーを自分で作り出している。

2　ナマケモノは木にぶら下がっているので、はやく動くことができず、そのためトイレも8日に一回しかしない。

3　ナマケモノはあまり動かないので、余分なエネルギーを使わない上、体毛にソウ類が生えて保護色になっている。

4　ナマケモノは睡眠時間がとても長く、人間のなまけ者そのものの名前をつけられるほど、ほとんど動こうとしない。

（3）「気のおけない人」とは、気(注)を遣わなくてもよい相手、遠慮したりせずに気楽に付き合える人のことです。「おけない」という否定表現イメージからか、「気のおけない人」を、気を許せない人、油断できない相手と勘違いしている人がいますが、この場合の「気」とは、「気を遣う」の「気」と考えると、わかりやすくなります。つまり気を遣うことをしなくてよい相手ということになります。

（大橋敦夫監修「そうだったのか日本語」『kadan』冬号2007による）

（注）　気を遣う：「気を使う」と書くこともある

【問い】　「気のおけない人」の例として適切なものはどれか。

1　話が硬くて付き合いにくい人

2　話していて落ち着かない人

3　いつでも礼儀正しく丁寧な人

4　何でも自由に話し合える人

(4) 子どもが勉強しないでゲームばかり。親のあなたはどうしますか。きっと怒るでしょうね。

「遊んでないで勉強しなさい」

でも、それでも子どもが勉強しなかったら、あなたはもっともっと大きい声でこう言うでしょう。

「勉強しろって言っているのが聞こえないのか！」

しかし、それでいいのでしょうか。

実は、子どもが勉強しないから怒るというのが問題なのです。というのは、子供は、あなたに怒られないように、ある程度は勉強して見せるようになるからです。それは、勉強とはいえないのではないでしょうか。

そしてもう一つ。あるフランスの哲学者は次のように述べています。

「我々は怒り(注1)のために手(注2)をあげるのではない。手をあげたことによって怒りが倍になるのである。」

この「手をあげる」を「大声で怒鳴る」に置きかえれば、もう一つの問題点はお分かりになるでしょう。

(注1)　怒り：怒ること

(注2)　手をあげる：ここでは、たたいたり、なぐったりする

【問い】　筆者の言う「もう一つの問題点」とは何か。

1　大声で怒鳴ると、子どもは負けずに大声で言い返す。

2　大声で怒鳴ったことで、ますます子どもを怒りたくなる。

3　大声で怒鳴ることで、子どもは反抗して言うことを聞かなくなる。

4　大声で怒鳴っても、子どものゲームをしたいという気持ちは消せない。

（5）次のグラフは、小学校の5年生から中学校の3年生までの子どもたちを対象に、よく遊ぶ友だちの種類について、学年別に複数回答で答えてもらった結果をまとめたものである。

学年別、よく遊ぶ友だちの種類（複数回答）

表19　よく遊ぶ友達の種類の構成割合　（%）

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
同じクラスの子	63.5	62.6	63.2	62.0	76.5	78.2	56.6	46.8	58.6
違うクラスの子	41.8	41.2	41.8	40.6	40.0	41.5	39.9	36.4	48.2
違う学年の子	13.3	11.6	13.7	9.5	28.0	16.6	5.3	6.4	4.8
家の近所の子	23.1	18.5	20.1	16.9	34.0	28.8	14.5	12.4	6.4
塾やけいこ事で一緒の子	9.6	8.0	7.1	8.8	6.5	9.6	9.6	4.8	9.2
クラブや部活で一緒の子	39.3	31.6	30.2	33.0	13.5	16.2	46.1	48.0	30.9
前の学校や幼稚園で一緒だった子	9.5	7.3	8.5	6.2	3.0	3.1	16.2	8.4	5.6
その他	5.5	4.7	4.0	5.3	3.5	3.1	6.1	5.6	4.4
特に決まっていない	16.0	16.6	16.3	16.9	10.0	8.3	18.4	22.4	22.1

（グラフは厚生労働省「平成13年度児童環境調査結果の概要（平成13年11月10日現在）」

〈http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/01/h0129-2c.html〉2009.1.25取得による）

【問い】　このグラフから言えることは次のどれか。

1　学年が上がるにつれて、同じクラスの子と遊ぶという回答の割合が減り、違うクラスの子と遊ぶと答えた子が増える。同様に、年齢とともに、違う学年の子と遊ぶという回答と、家の近所の子と遊ぶという回答が少なくなっていき、クラブの友だちと遊ぶという子が増加していく。塾やけいこ事関係の友だちと遊ぶ子どもの割合はかなり低い。

2　学年が低いと同じクラスの子と遊ぶ割合が高く、近所の子と遊ぶという回答がそれに続くが、学年が上がるとそれが逆になる。加えて中学生はクラブの友だちと遊ぶ子どもが増える傾向が見られ、クラスを超えたつき合いが中学生になると多くなるものと思われる。また、中学1年は前の学校の友だちと遊ぶ子どもが目立って多い。

3　小学生は同じクラスの子と遊ぶ子どもの割合が最も高いが、中学生はクラブの友だちと遊ぶ子も多くなる。加えて小学生は違う学年の子と遊ぶ割合が中学生よりも高いが、それは小学生は家の近所の子と遊ぶという回答が多いことと関係がありそうだ。また、中学生は、よく遊ぶ子が特に決まっていないという回答が目立って多くなる。

4　小学生は同じクラスの子と遊ぶ子どもの割合が最も高く、続いて違うクラスの子、家の近所の子という順になっている。中学生は、同じクラスの子が1位であるのは同じだが、次がクラブの友だち、違うクラスの子、家の近所の子という順である。また、中学生は前の学校の友だちと遊ぶ子も多く、友だち関係の広がりを感じさせる。

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　会議での決定に ＿＿＿ 、来月から新製品の生産を開始することになった。

1　かけては　　2　かぎって　　3　したがい　　4　したら

(2)　私たちのサークルは、ゴルフの経験の有無を ＿＿＿ 、だれでも入れます。

1　ぬいて　　2　めぐって　　3　かまわず　　4　とわず

(3)　締め切り直前になってテーマを変える ＿＿＿ 、いい論文は書けないだろう。

1　ならでは　　2　ままでは　　3　ようでは　　4　ものでは

(4)　来月の演奏会 ＿＿＿ 、毎日バイオリンの練習を続けている。

1　にとって　　2　に向けて　　3　のあげく　　4　の末に

(5)　平凡な私 ＿＿＿ 、彼女はあらゆる才能に恵まれているように思える。

1　からみると　　2　からには　　3　につけても　　4　について

(6)　旅行のプランは、お客様のご希望 ＿＿＿ 変更できます。

1　のことで　　2　といって　　3　を前にして　　4　に応じて

(7)　あいさつする予定の市長がまだ到着して ＿＿＿ 開会式が遅れそうだ。

1　いるわりに　　2　いないわりに　　3　おらず　　4　おり

(8)　この仕事は楽だし、給料もいいし、通勤時間が長いこと ＿＿＿ 文句ない。

1　をのぞいては　　2　にしては　　3　からいって　　4　のくせに

(9)　壁の汚れが気になって、上からペンキを ＿＿＿ 、かえって汚くなってしまった。

1　塗っただけあって　2　塗ったら　　3　塗るところ　　4　塗るうえで

(10)　娘があまりに楽しみにしていた ＿＿＿ 、遊園地に行けなくなったことをすぐには言い出せなかった。

1　ものの　　2　ものなら　　3　ものでも　　4　ものだから

(11)　三時間待った ＿＿＿ 、雨がやみ、美しい景色を見ることができた。

1　かいがあって　　2　ほどでなくても　　3　ばかりに　　4　かぎりでは

(12)　たとえ不合格 _____ 君の今までの努力はむだではないよ。

1　だったら　　2　だとしても　　3　であるなら　　4　でないことには

(13)　農業技術が発達する _____ 、人々の暮らしは豊かになっていった。

1　からといって　　2　にあたって　　3　とおりに　　4　につれて

(14)　エネルギーの問題がこれほど深刻になった _____ 、世界各国が協力して、ただちに対策を立てるべきだ。

1　からして　　2　だけあって　　3　以上　　4　一方

(15)　資料をコピーしたいんですが、コピー機 _____ よろしいですか。

1　使わせてくださっても　　2　使わせていただいても

3　使ってあげても　　4　使ってくれても

(16)　大企業の社長という地位を _____ 、私にはやりたいことがある。

1　捨ててでも　　2　捨ててばかり　　3　捨てるって　　4　捨てるまでも

(17)　駅から家までバスに乗らずに歩くのは、節約 _____ 健康のためだ。

1　だけで　　2　という　　3　にもかかわらず　　4　どころか

(18)　外国で生活を _____ はじめて自分の国の良さがわかった。

1　して　　2　する　　3　した　　4　しない

(19)　事務所のかぎを _____ とたんに、中で電話が鳴り始めた。

1　しめて　　2　しめる　　3　しめた　　4　しめよう

(20)　地方では人口が _____ に対して、都市部では人口が急激に増えている。

1　減った　　2　減る　　3　減ってる　　4　減っているの

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　合計がこんなに大きい数字になるなんて、だれかが計算を ＿＿＿ 。

1　間違えるにかぎる　　2　間違えるわけにはいかない
3　間違えたものがある　　4　間違えたにちがいない

(2)　環境問題への関心が高くなり、車ではなく電車を利用する人が ＿＿＿ 。

1　増えつつある　　2　増えてばかりいる　3　増えかねる　　4　増えようと思う

(3)　幸い友人が冷蔵庫をくれたので、新しいのを ＿＿＿ 。

1　買うばかりだった　　2　買わなくてすんだ
3　買うどころではなかった　　4　買いようもなかった

(4)　今晩、大型の台風がこの地方へ ＿＿＿ 。

1　近づかざるを得ません　　2　近づいてたまりません
3　近づくおそれがあります　　4　近づくままになっています

(5)　あしたハイキングに行くかどうかは、お天気 ＿＿＿ 。

1　次第だ　　2　向きだ　　3　のみだ　　4　ほどだ

(6)　あの学生は体が弱くて、授業を ＿＿＿ 。

1　休んでもみない　2　休むわけがない　3　休みかけた　　4　休みがちだ

(7)　怖くて怖くて、大声で叫びたい ＿＿＿ 。

1　べきだった　　2　くらいだった　　3　とおりだった　　4　つもりだった

(8)　常識のある大人なら、目上の人に対して失礼なことを言う ＿＿＿ 。

1　ほどではない　　2　ことではない　　3　ものではない　　4　までではない

(9)　そんなに体の具合が悪いなら、無理をしないで ＿＿＿ 。

1　休まないほうがいいよ　　2　休まなければいいよ
3　休んだらいいじゃないか　　4　休んだじゃないか

(10)　お世話になった先生が突然入院されたと聞いて、私は心配で病院に _____ 。

1　行きそうもなかった
2　行かずにはいられなかった
3　行くかのようだった
4　行くというものだった

問題 Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　A「この展覧会、人気があるんだね。これじゃ、入るまでに1時間は並ぶよ。」
B「そうだね。私たち、もっと早く ＿＿＿ 。」

1　来ればよかったね　　2　来たらいいのにね
3　来たってことだね　　4　来るほどじゃないね

(2)　A「あんなに大きな怪我をしたんだから、危険なことはもう二度とやらないでしょうね。」
B「いや、彼だったら ＿＿＿ 。」

1　やらないのも無理はないだろう　　2　どんどんやればいいのに
3　やるのはもっともだ　　4　またやりかねないよ

(3)　実力のあるチームがいつも勝つ ＿＿＿ 。試合はやってみなければ分からないのだ。

1　ということだ　　2　に決まっている　　3　とは限らない　　4　のではないか

(4)　残念ですが、明日のパーティーには参加できません。 ＿＿＿ 、急に出張することになったんです。

1　といっても　　2　というのは　　3　そのために　　4　それならば

(5)　君が一人で責任を感じる ＿＿＿ 。そんなに悩んでいたら体を壊してしまうよ。

1　ことはない　　2　わけではない　　3　はずがない　　4　にちがいない